

各 位

会 社 名 株式会社ワンダーコーポレーション
 代表者名 代表取締役社長 内藤 雅義
 (JASDAQ・コード番号: 3344)
 問合せ先 取締役管理本部長 宮本 正明
 (TEL: 029-879-7030)

2021年3月期業績予想に関するお知らせ

当社は、2020年11月12日に公表いたしました、2021年3月期第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)において、未定としておりました2021年3月期(2020年4月1日～2021年3月31日)の通期業績予想について、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2021年3月期通期業績予想数値(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 —	百万円 —	百万円 —	百万円 —	円 銭 —
今回発表予想 (B)	57,940	1,311	1,285	691	91.46
増減額(B-A)	—	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	61,207	1,277	1,306	978	129.52

2. 業績予想の公表の理由

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)感染拡大の影響により、業績予想の合理的な算出が困難であったことから未定としておりましたが、現時点において入手可能な情報および最近の業績動向を踏まえ、連結業績予想を算定いたしましたので公表いたします。

2021年3月期の業績につきましては、緊急事態宣言期間を中心とした、実店舗の休業や営業時間の短縮、ならびに各種イベントの中止等により、不安定な状況で推移しておりましたが、ゲームおよび本などの巣ごもり需要によるWonderG00事業およびTSUTAYA事業の好調や、ニューノーマル時代に適応した新しいイベント形態を確立したことによる新星堂事業の復調により、業績は回復いたしました。

第3四半期以降においても、新型コロナウイルス感染症が業績に及ぼす影響については不透明ではありますが、昨年より実施しております事業構造改革による利益率の改善、選定年制度による人件費コストの適正

化および抜本的なコスト構造の見直し等により、業績は好調に推移する見込みであります。今後についても、前期から今期へと継続して取り組んでまいりました改革の成果を引き続き継続し、WonderG00 事業ならびに TSUTAYA 事業、新星堂事業の体験型ビジネスモデルへの転換と WonderREX 事業の成長戦略を着実に実行し、収益の拡大を図ってまいります。

この結果、2021 年 3 月期の連結業績予想は、連結営業利益 13 億 11 百万円、経常利益 12 億 85 百万円を予想しております。

親会社株主に帰属する当期純利益は、選択定年制度による特別損失を計上した結果、6 億 91 百万円を予想しております。

(注) 本業績予想については、現時点で入手可能な情報および合理的と考える一定の前提に基づき判断した見通しであり、実際の業績はさまざまな要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上